



2023.2.10 静岡県地域福祉教育推進セミナー

① 自己紹介

② 『長泉スポーツクラブ』の紹介

③ 『AVS』の目指す世界

まつなが とものり

ユニソック合同会社 代表：松永 智教
unisoc.matsunaga@gmail.com



松永 智教

長泉スポーツクラブ：代表
ユニソック合同会社：代表
キヤノン株式会社：社員

静岡県駿東郡長泉町_在住
【家族】 妻、長女、次女、犬
【趣味】 球技スポーツ（バレーボール、サッカー）

健全な子供達は、毎週末サッカー教室に通うのに、障がい児に機会が無いのは何故？という疑問から、行動を始めました。自力で毎週開催するのが難しいので、他にも主催者が現れる様に、主催者が最も困っているボランティア集めという課題を簡単にする仕組み作りを考え始めました。そのアイデアを経産省プロジェクト『始動』に提案する事によって、社会起業家としての道を歩み始めました。ビジョンは、優しいユニバーサル社会の構築です。

【経歴】

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 1975年 | 愛媛県生まれ | 2018年 | 経済産業省『始動 Next Innovator 2018』：選抜
静岡県自民党 公募提案型政策コンテスト：優勝 |
| 2000年 | 大阪大学 大学院 精密科学専攻 修士課程修了
キヤノン(株) 入社 (レーザービームプリンター開発) | 2020年 | 慶応SDM次世代リーダービジネスプランコンテスト：優勝
ユニソック合同会社 (Universal Society Creator) を設立 |
| 2005年 | 長女 ななみさん誕生
(先天性心臓病の手術により脳性麻痺を患う) | 2021年 | しずおかビジネスプランコンテスト：優勝 |
| 2017年 | 長泉スポーツクラブを設立 (任意団体) | 2022年 | 浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業
『ORI-project』：採択 |

『長泉スポーツクラブ』の紹介

～ 障がい者スポーツクラブ立ち上げ と 今後の展望 ～



ユニソック合同会社 代表：松永 智教
unisoc.matsunaga@gmail.com



障がい児を取り巻く環境の中で、**当事者親子の距離感**に課題を感じた

『長泉町障がい児の将来を考える会 エール』の事務局として、色々なイベント企画を体験させて頂いた



障がい児の親が集まり、
環境改善に取り組むコミュニティ



課題

親同志の意見交換をしたくても、
常に子供を注視する必要があり、
子供から目を離せない



イベント参加し、『障がい者スポーツ』の素晴らしさを体感する

2017年に、三菱商事さん主催イベント『DREAM AS ONE』に参加させて頂きました。

様々なパラスポーツをトップ選手が子供達に教えてくれるイベントです。

DREAM AS ONE.

Project in Support of Paraspports Since 2014

DREAM AS ONE.

～ともに一つになり、夢に向かって～

三菱商事には、創業以来の企業理念「三願情」があり、「私たちは社会とともに歩む企業でありたい」という思いを深く持っています。1973年、藤野忠次郎社長（当時）の「企業は利益を得る前に社会的経費を負担すべき」という意志の下、社会環境堂が新設され、私たちの社会貢献活動がスタートしました。その起り所となったのも「三願情」です。

私たちが行っている社会貢献活動の中でも、「障がい者への支援・福祉」には、特別な思いをもって取り組んできました。始めは、障がい者の自立と社会参加支援のために中村裕博士が設立した「太陽の家」（大分県別府市）との出会いです。1979年に太陽の家への支援を開始し、1983年には、両者の共同出資による情報処理会社「三菱商事太陽」が生まれました。単なる障がい者への生活支援ではなく、「IT分野」という障がい者の新たな職域の開拓を支援し、さらに一歩進んだ社会的自立をサポートする姿勢は、当時から受け継がれているものです。また、障がい者スポーツの振興にも情熱を注いだ中村博士は、大分の地で車いすマラソン大会を提唱、その思いが実った「大分国際車いすマラソン大会」は三菱商事も支援し、今や世界規模の大会となりました。

2014年、三菱商事は戦後の財閥解体を経て大合同以降、新生・三菱商事として発足してから60年を迎えました。この節目となる年に際し、長年にわたって取り組んできた「障がい者スポーツ支援」を、さらに充実させていくことになりました。



根木慎志さんの話に共感！

- シドニーパラリンピック
- 男子車いすバスケットボール
- 日本代表キャプテン

出典：三菱商事『DREAM AS ONE.』より

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/mc-me/others/dreamasone01/>

なぜ？ 障がい児には、毎週末のスポーツ機会が無い？



健全児は、毎週末、スポーツ少年団に通う



課題

障がい者スポーツ教室の場が存在するが、知れ渡っていない団体が多い

例：スタッフよりも、参加者が少ない様な団体もある

⇒ **参加者2名 < スタッフ5名**



『障がい者スポーツ』を中心とした、『三方よし』の形



長泉町障がい児の将来を考える会 エール 分科会として、『長泉スポーツクラブ』が発足



2017年4月22日 第1回 長泉スポーツクラブ

【参加者】 12家族 + スタッフ6名

【競技内容】 体操、リレー、レクリエーション
ボッチャ、フライングディスク

長泉スポーツクラブの位置付け：『初めての障がい者スポーツ』

～ 所望の専門競技に出会う前に、スポーツを習慣化する事を目的とする ～

【長泉スポーツクラブ】



【各競技団体】



楽しむ！

競技志向へ転向

月1回ペースで開催し、『第60回』を迎えました！

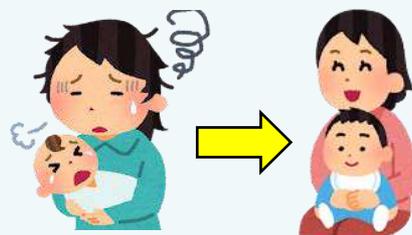


コミュニティ内にて、以下3つの成果が現れ始めている

サードプレイス



コミュニティ形成により、
日常と異なる距離感に



当事者家族の安心感

同じ目線

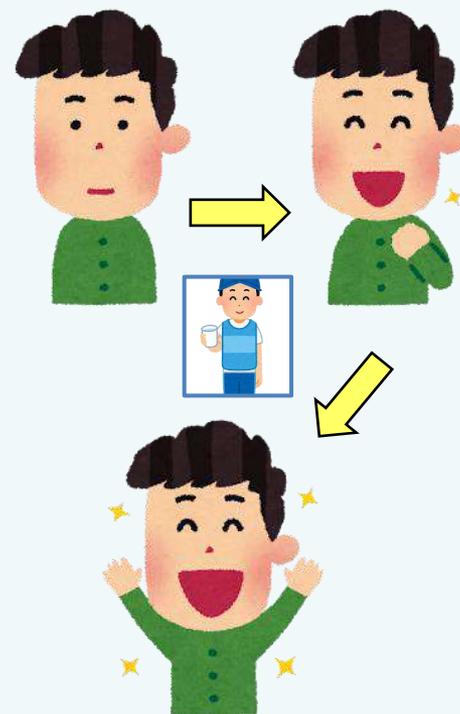


車椅子での運動を経験



同視点を体感した気付き

主体性の向上



ボランティア体験を通じた学び

車椅子に乗ると、視線が同じになり、対決 or 友だち関係へ



主体性の向上が、個人の成長に大きな影響を与えている

↑
主体性の向上



参加者



①

引籠もり学生の立ち直り



主催者



②

若きパイオニア



起業家



③

覚醒した
イノベーター



ボランティア体験を通して、自己肯定感を高めた学生



ちょっと、学校が苦手な中学生

ボランティア体験



元気に働くイケメン男性に成長

心理的安全な場 + 自己肯定感

主催者へと成長し、島田にて新団体を立ち上げた細田先生



コアメンバーとして大活躍！



支援学校教員 + ミュージシャン



ビジョンを共有



スポーツを通して共生社会を実現していきたい。――
 障害の有無に関わらず、一緒に楽しめる場所「インクルーシブスポーツクラブ」を立ち上げた細田さん。仲間同士の相互作用を大切にしながらスポーツなどを取り入れて活動しています。

「じゃあ、みんなやろう」
 特別支援学校で教員を務める細田さんは、誰もが生涯スポーツを楽しめる場所をつくりたかったと話します。「障害のある生徒たちに体育を教える中で、卒業後もスポーツを続けられる場所がほとんどないことに、ジェンマを抱えていました。そんな折、昨年の東京パラリンピック閉会式のテーマ「調和の取れた不協和音」から、みんなと一緒にやればいいインクルーシブな考え方の大切さを実感。誰もが笑顔でいられる場所をつくりたくて、昨年10月にクラブを設立しました。活動は毎月1回、主に市内小学校の体育館で行います。みんなアイデアを出し合い、色々なことに挑戦しています。」

「ポッチャへのこだわり」
 「ポッチャは玉のひらサイズの球をジャックボールととも魅力です。8年前初めて配属された学校で競技のこ



インクルーシブスポーツクラブ 代表
 細田翔生さん(中清町)

いづ的にしただけ近づけることができるかを競うチームスポーツ。ボールを投げられなくても、補助員を使って参加できます。また1投で逆転できる可能性があるため、最後まで勝敗が分からないこ

（後に、東京パラリンピック、ポッチャ個人で金メダルを獲得）と出会い、後日改めて学校に招く機会に恵まれたんです。交流会では公式戦で、通用する内容を学校全体で学び、本気で取り組む楽しさと

「誰だって勝てるから」
 「クラブの目標は、障害者と健常者が歩み寄り、感じて学び合うことです。仲間同士が助け合い、ハンディキャップやバリアを解消するのほらみんなですが、それ以上に、みんながアイデアを出し合い、主体的に動くことを大切にしています。障害の有無に関係なく、この経験を生かして、一人一人が自分らしく輝ける人生を歩んでほしいと思います。だから特別扱いはいりません。役割も平等に分担します。そういった居場所をつくることで、地域から共生社会を実現していきたいです。自分自身もすごく楽しいし、仲間たちも笑って活動しています。これからはたくさんの人と関わっていきたくてうれしいですね」

チームワークの大切さを、生徒と分ち合うことができた。この経験から、クラブでは毎回ポッチャを取り入れるようにしています。



ポッチャに挑戦するメンバー(活動の様子)は、クラブのインスタ

Shimadajin File #128



2022年：『インクルーシブスポーツクラブ』を立ち上げ
 2023.4.1：長泉スポーツクラブとの交流戦をスタート！

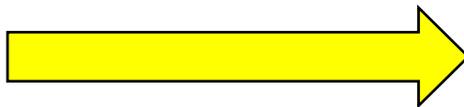
行動し続け、ビジョンを掲げて、起業家へと進む私自身



2018年
経産省プロジェクト
『始動』により覚醒



主体的な行動



理念

優しいユニバーサル社会を創る！



「改善の真重がインベション」をモットーに活動中。

「改善の真重がインベション」をモットーに活動中。



2017年 長泉スポーツクラブを立上げ

以下の課題に苦戦している為、皆さんの助力が欲しいです！

① 全員を満足させれない

少数派である福祉特有の課題

参加者の満足度を高める為には、ターゲットを絞る必要有り

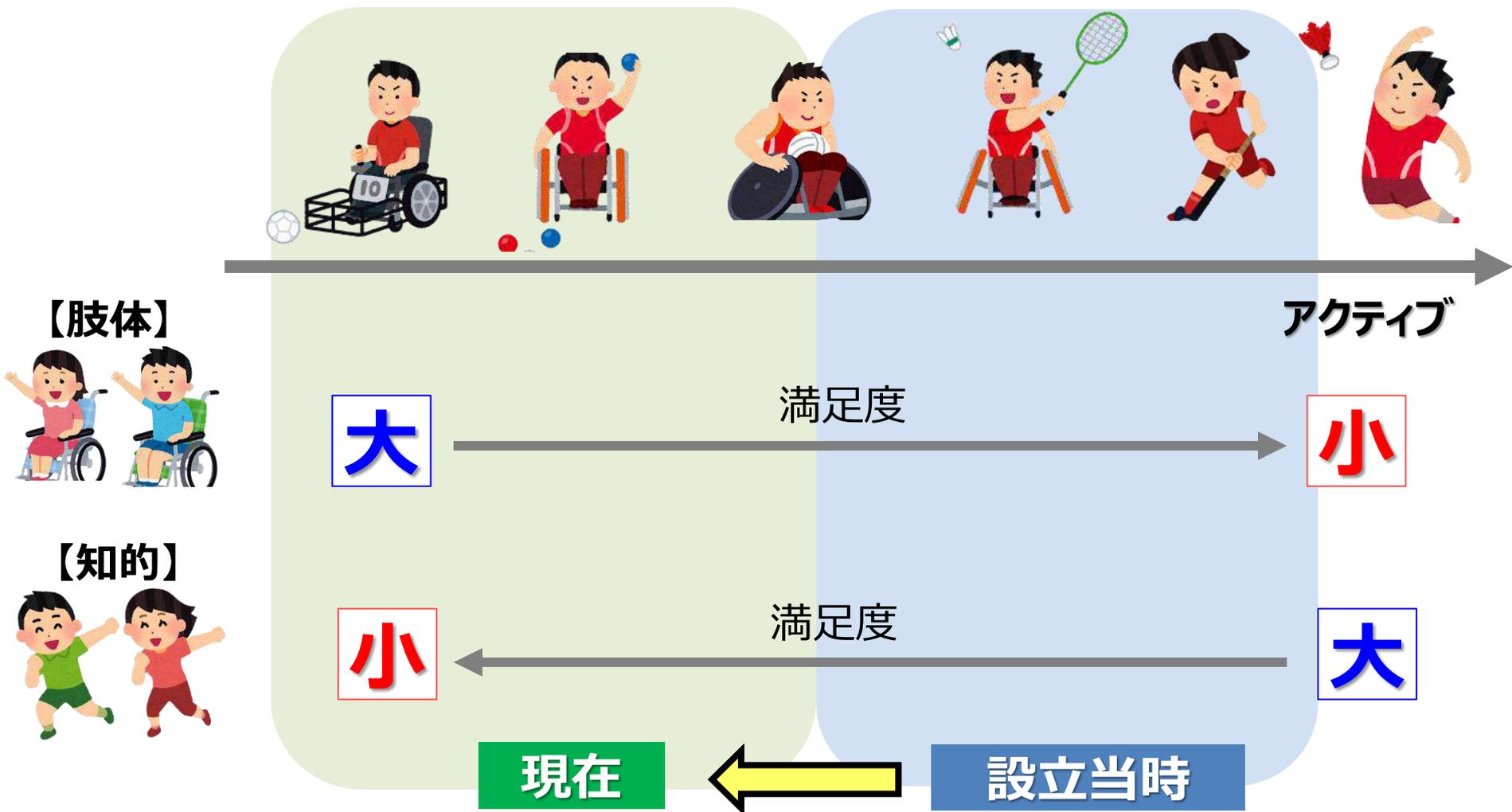
② チャレンジし難い環境

安全安心が最優先される福祉業界

失敗例

全員を満足させる事が難しい為、コンテンツ選びに課題有り

アクティブ度を弱めると、知的の参加者が減り、肢体の割合が増えた (肢体 : 20% ⇒ 80%)

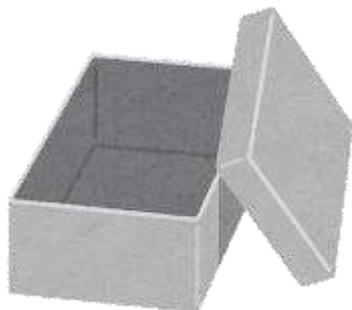


目的って何だっけ？

目的

障がい者が毎週末、スポーツの機会を得られる状態を提供

イベントが開催される



箱

障がい者が通いたくなる



人

自問自答

肢体だけが対象？ 知的は？

※参考

『箱』だけのアプローチになっていませんか？

本当は、『人』が大事なんです！

情報が知れ渡っていない課題の解決策を提示

⇒ 新しい手段へのチャレンジに及ばない

失敗を恐れず、チャレンジしてみませんか？

【開催イメージ】

〇〇月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5 長泉
6	7	8	9	10	11	12 裾野
13	14	15	16	17	18	19 沼津
20	21	22	23	24	25	26 三島
27	28	29	30	31		



課題

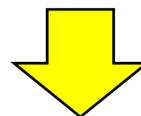
障がい者スポーツ教室の場が存在するが、
知れ渡っていない団体が多い

例：スタッフよりも、参加者が少ない様な団体もある

⇒ 参加者2名 < スタッフ5名



当初：長泉スポーツクラブの情報配信
メーリングリストにて、他団体の情報も配信



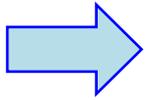
全団体の活動案内を横並びで可視化したい！

目的

障がい者が毎週末、
スポーツの機会を得られる状態を提供

① シェアリング構想 (用具、競技ノウハウ、ボランティア)

② インクルーシブ (皆が平等にゴチャ混ぜ)



① 他団体との越境
② シニアも一緒に



優しい日本人は多いが、電車の中で高齢者に席を譲れない理由は、

同調バイアス ※ によって自ら手を挙げれない為なのでは？

※ 回りを気にし過ぎ、自ら席を譲るという行動に踏み出せない

『優しい社会を創る』 為に、



ボランティア体験を通して、個人の主体性を高めたい！

『AVS』 : Active Volunteer System

～ ボランティア体験を通して、個人の主体性を高める法人向けサービス ～



ユニソック合同会社

代表：松永智教

unisoc.matsunaga@gmail.com



増え続ける社会課題に対して、共助ニーズが高まっている



+



ボランティア文化醸成によって、**主体的な行動** を促したい

『ボランティア』とは？

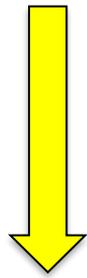


: 無償で他へ奉仕する行動



: 世界基準では、**主体的な行動**

『主体的な行動』が、Well-beingに繋がる



Well-being

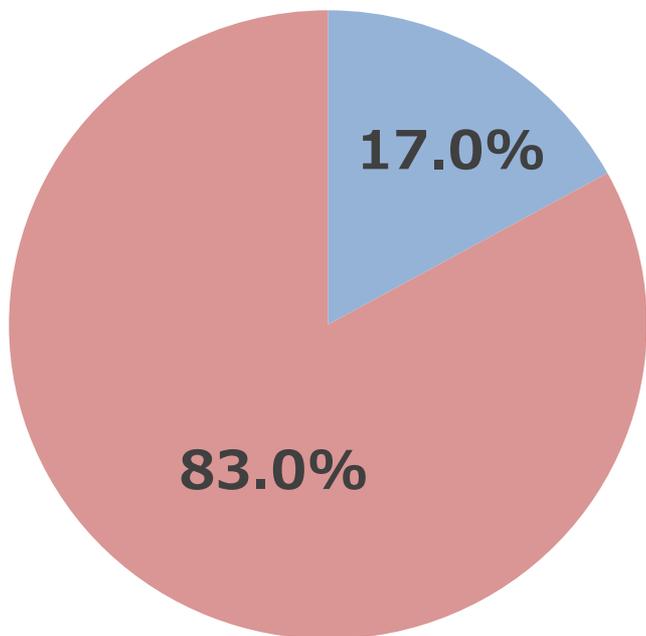
訓
領
域

データ連携基盤 (公共サービスメッシュ) 国土空間データ (3D含む)
 ガバメント・クラウド データセンター セキュリティ センサーネットワーク
 通信インフラ (5G, beyond 5G / 高速ネットワーク)

※身体&精神&社会の健康状態

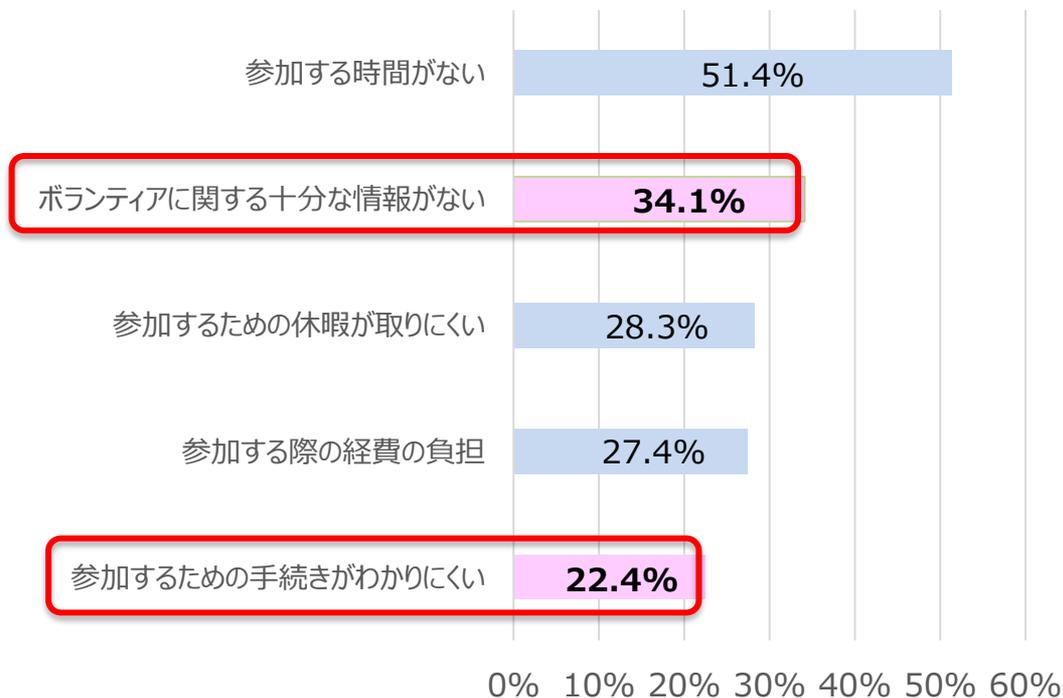
情報不足によって、ボランティア活動の参加率が上がらない

ボランティア経験の有無



■ したことがある ■ したことがない

ボランティア参加の妨げ TOP 5



※引用：2018年 内閣府アンケート N=3000人



沼津東高校の教室
掲示板にチラシが散在

主体性向上の指標として、社会貢献スコアを活用



ボランティア参加



主体性向上



継続・成長



社会貢献スコア



静岡県長泉町

マツナガトモノリ(男)

年齢: 46歳

職業: 会社員

保持スキル:

参加: 11回

総時間: 16時間30分



ボランティア体験する度に、
社会貢献スコアが更新される

ボランティア希望者とボランティア募集する主催者をマッチングさせるプラットフォーム



(Active Volunteer System)

ユーザーメリット

①情報の一元化

ボランティア情報がバラバラに存在

A市 (市役所、市民活動センター、社協)

B市 (市役所、市民活動センター、社協)

C市 (市役所、市民活動センター、社協)

民間 (activo, BLUE SHIP, Pirika)

ボランティアプラットフォーム

情報を集約

↓

AVS

↓

ユーザー

②LINE機能

ジャンル

地域 (静岡県、静岡市、富士市、沼津市)

セグメント配信

↓ 所望条件を設定

14 浜松市 中区

↓ 一致した情報を受信

LINE受信

マップ可視化

③マイページ

静岡県長泉町

マツナガトモノリ(男)

年齢: 46歳

職業: 会社員

保持スキル:

参加: 11回 総時間: 16時間30分

60VP 60VP 20VP 6VP 7VP

6VP 7VP 166VP

社会貢献スコア

インセンティブ付与

検討中

Re&Go

捨てずに返す容器のシェアリングサービス

常葉大学ボランティアセンターでの活用提案によって採択された

【Hamamatsu ORI-Project】「「AVS」～ボランティア体験を通して、個人の主体性を高める法人向けサービス～」の実証実験がスタート！

市内のボランティア情報の一元化とプッシュ型の情報発信に加え、社会貢献スコアの可視化を行うことで、ボランティア活動の活性化等の効果を検証します。

浜松市

🕒 2022年12月2日 13時00分

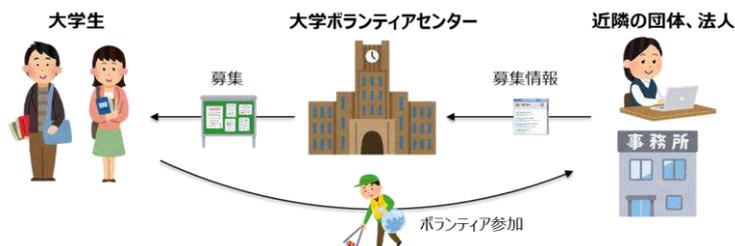


浜松市では、官民連携でデータ連携基盤のユースケースの創出を図る Hamamatsu ORI-Project を実施しています。このたび、令和4年度の事業検証支援の対象である「「AVS」～ボランティア体験を通して、個人の主体性を高める法人向けサービス～」の実証実験が開始されましたのでご案内します。

(参考プレスリリース : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000203.000049248.html>)

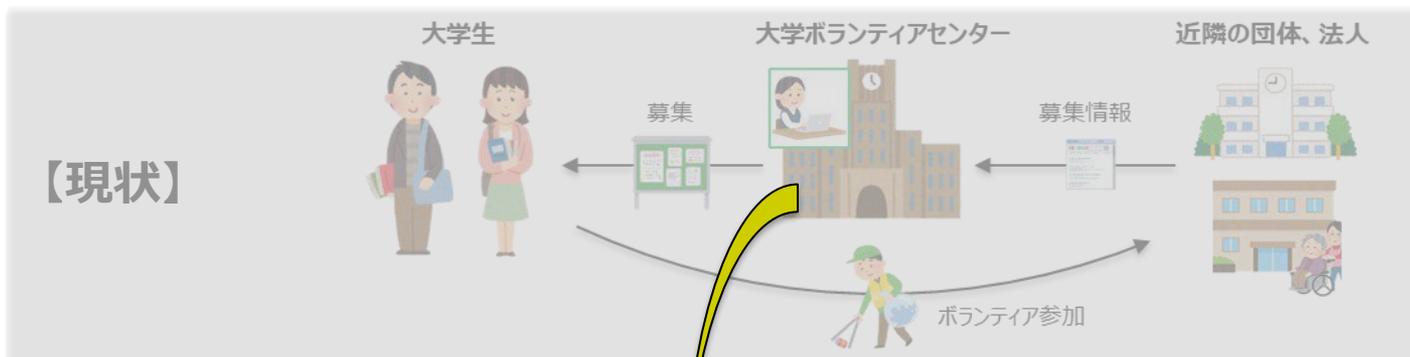


Hamamatsu Open Regional Innovation #3



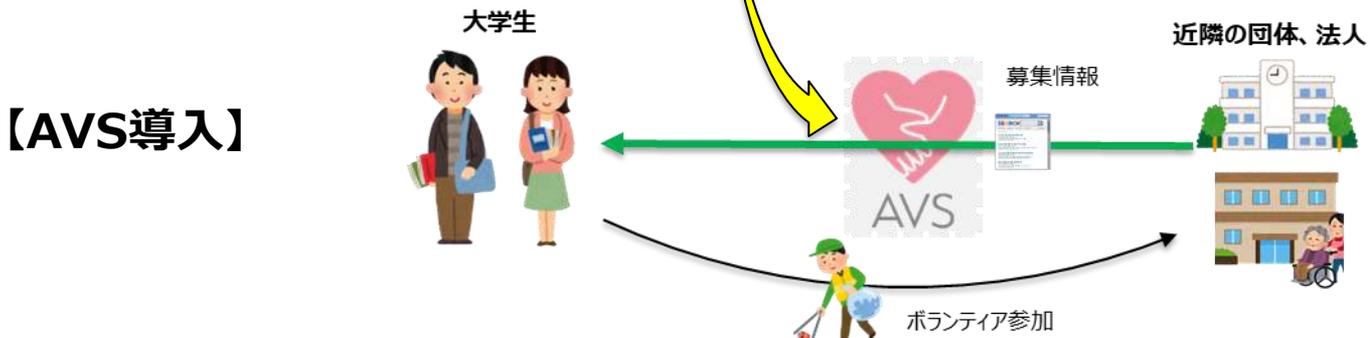
大学事務局の負荷低減

事務局の作業をDXし、工数2/3削減を目指す

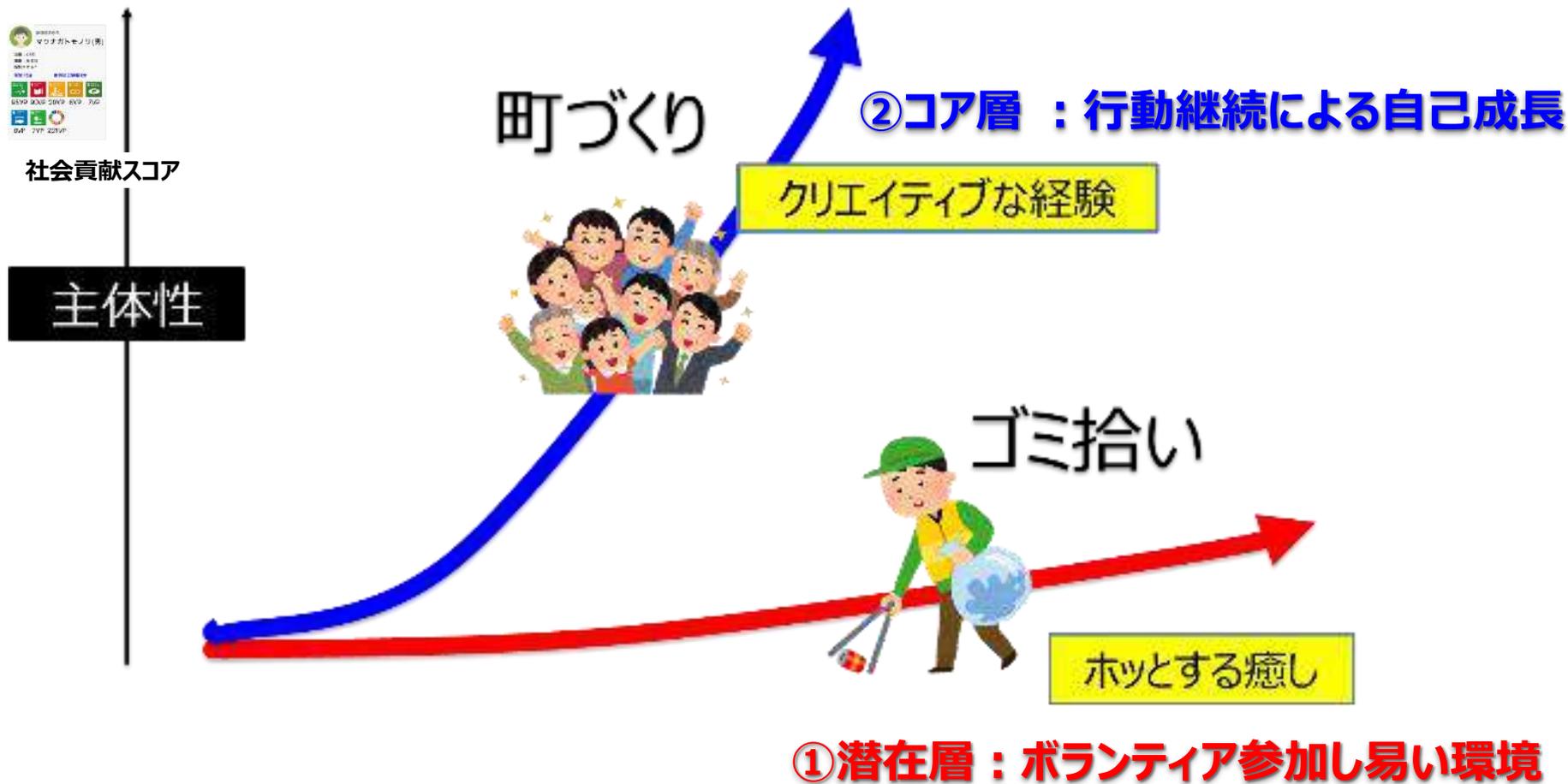


仲介作業の削減が可能

67%削減



社会貢献スコアに応じて、最適な価値を提供する事によって、個人の主体性向上を促す



⇒ AVS上にて、ボランティアユーザーの **2段階成長** をデザインする
(潜在層を取り込む、コア層へ飛躍させる)

皆さん、御協力をお願いします！



アンケート依頼



ユーザー登録

興味ある方募集！

(ボランティア、メディア、参加希望団体)



2023.4.1：島田にて、『長泉スポーツクラブ』と『インクルーシブスポーツクラブ』の交流戦！